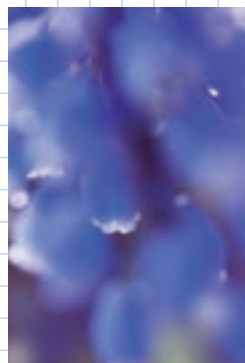
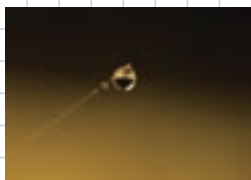
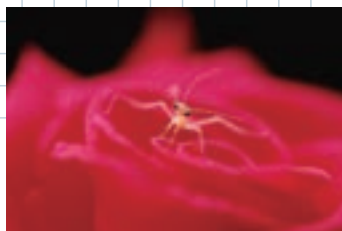


株主通信 第67期 中間報告書



2013年1月 1日



2013年6月30日

CONTENTS

ごあいさつ 2

セグメント別事業の概況 3-4

TAMRON NOW 5-6

トピックス 7-8

連結財務ハイライト 9-10

連結財務諸表 11

会社情報 12

CSR活動報告 13

LESSON 14

マクロレンズフォトコンテスト作品募集 13-14

「EISA アワード」8年連続受賞 2機種同時受賞の快挙！



SP 70-200mm F/2.8 Di VC USD
(Model A009)
ヨーロッパ・ズーム・レンズ
2013-2014 受賞

SP 90mm F/2.8 Di MACRO
1:1 VC USD (Model F004)
ヨーロッパ・レンズ
2013-2014 受賞



代表取締役社長
小野 守男

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当社第67期上半期(2013年1月1日～2013年6月30日)の営業概況についてご報告申し上げます。

当上半期における世界経済を概観しますと、米
国経済は、雇用環境や住

宅市場の改善、個人消費の増加により底堅く推移しました。欧州経済は、債務問題による緊縮財政や若年層の失業率上昇、個人消費の低迷などの影響から景気停滞が長期化しました。新興国経済は全般的に成長が減速し、中国経済は1～6月期の経済成長率が7.6%になるなど景気の減速が鮮明になりました。

一方わが国経済は、日銀による金融緩和効果などにより昨年末以降、景気回復傾向が続き、個人消費は株高などを背景に大幅なマインド改善が見られたものの、デフレ脱却は道半ばの状況であります。

当社グループ関連市場であるデジタルカメラ市場は、レンズ一体型タイプの出荷台数は前年同期に比べ約5割減となり、レンズ交換式タイプも前年同期に比べ約2割減、交換レンズ市場でも前年同期に比べ約1割減となり厳しい状況となりました。

このような状況の下、当社グループの当上半期におけ

る売上高は、写真関連事業や特機関連事業の売上高が為替のプラス影響もあり、上半期としては過去最高を更新し、314億53百万円(前年同期比3.4%増)となりました。一方、利益面につきましては市場環境が厳しい中、為替のプラス影響以上に販売数量の減少に伴い利益が減少したことや営業費用が増加したことなどにより営業利益23億60百万円(前年同期比18.0%減)、経常利益22億92百万円(前年同期比19.2%減)、四半期純利益16億15百万円(前年同期比22.2%減)となりました。

■ 通期見通しについて

当上半期の業績は計画を下回り、デジタルカメラ市場の先行きも不透明ではありますが、為替影響などを考慮した結果、2013年2月5日に発表した通期業績予想を据え置くことといたします。

※下半期の為替レートにつきましては、1米ドル=98円(年初想定レートは85円)、1ユーロ=125円(同115円)を前提としております。

■ 配当金について

中間配当金につきましては、当上半期業績や財務状況等を総合的に勘案し、1株につき20円とさせていただきます。

株主の皆様におかれましては、これからも引き続きご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

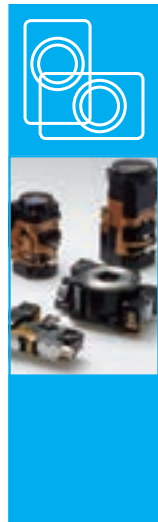
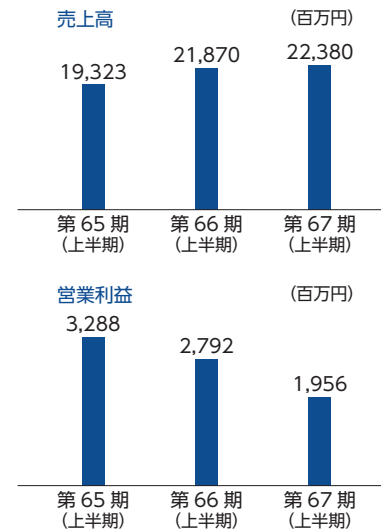
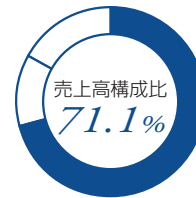
2013年9月



写真関連事業

写真関連事業は、売上高は上半期として過去最高を更新したものの、中国では前年割れとなった他、市場の調整局面が続く中、一部製品の値下げや営業費用の増加の影響などにより減益となりました。

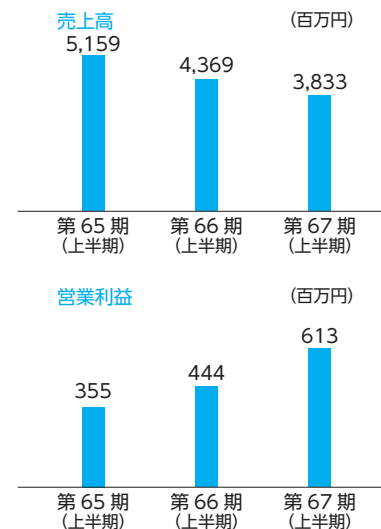
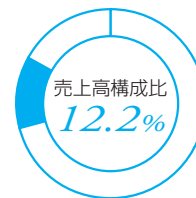
このような結果、写真関連事業の売上高は223億80百万円(前年同期比2.3%増)となり、営業利益は19億56百万円(前年同期比29.9%減)となりました。



レンズ関連事業

レンズ関連事業は、コンパクトデジタルカメラや、デジタルビデオカメラ市場は、スマートフォンの普及拡大などにより大幅な縮小が続いている状況下、売上高は減少となりましたが、利益につきましては開発費の回収などもあり増加となりました。

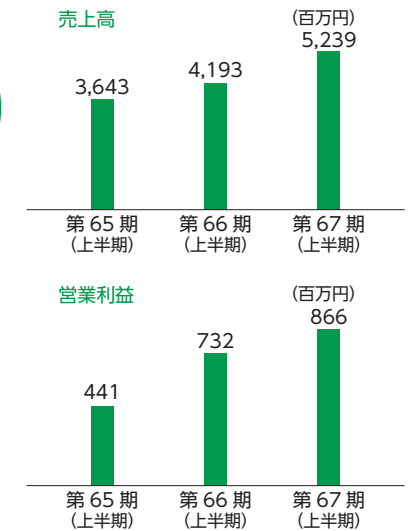
このような結果、レンズ関連事業の売上高は38億33百万円(前年同期比12.3%減)、営業利益は6億13百万円(前年同期比38.2%増)となりました。



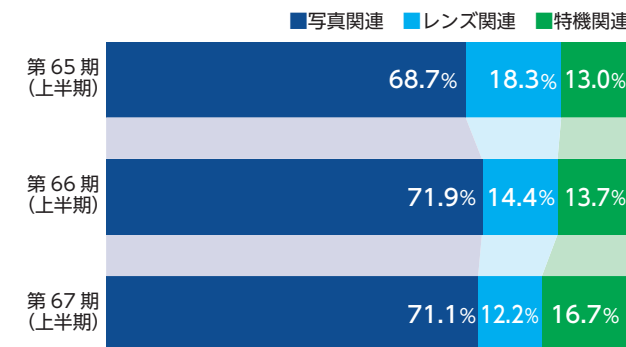
特機関連事業

特機関連事業は、監視カメラの高画質化ニーズが高まる中、一体型監視カメラ市場の拡大により、ビルトイン(一体型カメラ用)レンズの販売が引き続き好調に推移し、売上高、営業利益ともに上半期としては過去最高となりました。

このような結果、特機関連事業の売上高は52億39百万円(前年同期比24.9%増)、営業利益は8億66百万円(前年同期比18.2%増)となりました。



連結売上高構成比率の推移



	第65期(上半期)	第66期(上半期)	第67期(上半期)
写真関連	68.7%	71.9%	71.1%
レンズ関連	18.3%	14.4%	12.2%
特機関連	13.0%	13.7%	16.7%

TAMRON *Now*

デジタル一眼レフカメラ用交換レンズ ができるまで

前回は交換レンズに入っているレンズ玉の加工工程について紹介しました。
今回はタムロン弘前工場から、部品が集められ実際に組立てられていく工程を
モデルA007ができるまでを例にとってご紹介いたします。

24-70mm F/2.8 Di VC USD (モデル A007)

高次元の描写力を実現したフルサイズカメラ用、F/2.8 大口径標準ズームレンズ。同クラスでは「手ブレ補正機構」を世界で初めて搭載したタムロンの主力レンズの1つ。2012-2013 EISA受賞レンズ。



組立室

組立はクリーンルームで、埃や汚れに再三の注意を払いながら行われます。
ベルトコンベアーで流すのではなく、人の手による組立が中心となります。

▼ 枠組み工程



レンズ玉を組み合わせる為に、まずは鏡筒(黒いプラスチック部)の組立を行います。レンズ玉を正しく配置し、レンズ性能を引出す為にも、正確な鏡筒の組立が必要です。

▼ レンズ玉の取付



交換レンズには10枚以上のレンズ玉が入っています。1枚だけのレンズ玉やレンズ玉を何枚か重ねたレンズ群が複雑に組合わさって構成されています。

▼ マウントの取付



レンズ玉など全て組立てた後は最終工程としてマウント(カメラと交換レンズの接合部)の取付を行います。

> USD*の組立



自社製且つ部品点数を絞った事によりスピーディな組立を可能としました。

* USD (超音波モーター)とは?

静粛性に優れたAF駆動で素早く、且つ精度の高いピント合わせを実現します。



超音波モーターユニット



分解した部品写真

◎専門用語をなるべく使わず、分かり易く簡略化して説明しております。実際の工程には下記で紹介されていない工程も含まれております。



タムロン弘前工場

1969年5月設立。国内の組立及び新製品を海外へ量産移行する為の技術指導も行うマザー工場。新製品や小ロット品の組立を担当。小ロット品の組立は1人で全組立を行える熟練の社員によって効率的に行われています。

検査／確認工程

交換レンズは非常に高度、精密、且つ安定した性能が要求されます。お客様に満足頂ける高品質な商品を作る為、組立完成までの間、あらゆる検査が何度も行われます。今回は代表的な検査／確認工程をいくつか紹介いたします。

> VC*ユニットの確認



VCユニット組立後の確認。丹念なチェックと同時にスピードも要求されるベテラン技。



VCユニット

駆動コイル

*VC(手ブレ補正機構)とは?

最大4段分の手ブレを補正。張り付くようなファインダー像と評され、低照度下でも、手振れが軽減される為、快適に撮影が行えます。

VC:OFF



VC:ON

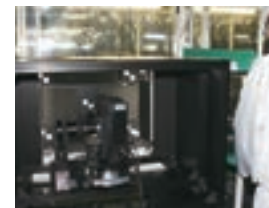


▼ 専用機械による確認



目視だけでなく、機械でも検査を行います。写真はタムロン専用で作られたAF(オートフォーカス)確認用。弘前工場内には、検査用に様々な専用機械があります。

▼ MTF調整機による確認



レンズが被写体にとって適したコントラスト(明暗の差)を出せるようMTF調整機という専門の機械で測定し確認します。

▼ 目視による確認



写真は商品組立完成後の最終目視確認。目視による入念な確認が行われます。

梱包・出荷



様々な組立工程と検査を経て完成したレンズは、乾燥材と共にビニール袋へ入れ、化粧箱に収めて出荷します。

タムロンの世界展開

3月インドに販売子会社を設立

当社はこれまで、近年飛躍的な経済成長を遂げているインドを有力市場と位置づけ、2009年には駐在員事務所を設立し、情報収集および市場調査、販売代理店との連携強化を図ってまいりました。

そしてこの度、中長期的にもレンズ交換式カメラ市場やセキュリティ市場の更なる拡大が見込まれると判断し、本格的な事業展開を図るため販売子会社を設立いたしました。インド販売子会社の設立により、売上拡大やタムロンブランドの認知向上、アフターサービス体制強化によるお客様へのサービス向上等を図ってまいります。



社長 ニティン・ゴエル



Corporate data

会社情報

商号	TAMRON INDIA PRIVATE LIMITED		
所在地	ハリヤーナー州 グルガオン市(デリー近郊)		
事業内容	精密光学機器等のマーケティング およびアフターサービス		
資本金	2,800万ルピー		
出資比率	当社	99.6%	
	TAMRON Europe GmbH	0.4%	
設立年月日	2013年3月15日		
従業員数	5名(2013年6月30日時点)		
営業開始	2013年6月～		



India

2013

新発売

特機関連

魚眼レンズ搭載 Panorama Camera 180-View シリーズ
メガピクセルIPカメラ Model 300QV-P-CM 発売



新発売

特機関連

メガピクセル・NIR対応 1/2.7
型 望遠バリフォーカルレンズ
8-50mm F/1.6 (Model M13VG850IR) 発売



新発売

写真関連

『SP 70-200mm F/2.8 Di USD (Model A009)』ソニー用発売
『SP 90mm F/2.8 Di MACRO 1:1 USD (Model F004)』ソニー用発売

1月

January

2月

February

3月

March

4月

April

5月

May

6月

June

新発売

写真関連

タムロンの銘玉、90mmマクロ
レンズに手ブレ補正機構と超音
波モーターを搭載したモデル
『SP 90mm F/2.8 Di
MACRO 1:1 VC USD
(Model F004)』ニコン用発売



新発売

特機関連

交通監視用 3メガピクセル対応 単焦点
レンズ 1/1.8型 35mm F/1.4 (Model M118FM35-II) 発売

新発売

写真関連

手ブレ補正機構と超音波モーター搭
載の、クラス最大口径望遠ズーム。
『SP 70-200mm F/2.8 Di VC USD
(Model A009)』ニコン用発売



子会社設立

会社情報

インドに販売子会社を設立

新発売

写真関連

35mm判フルサイズ対応の大
口径標準ズーム『SP 24-70mm
F/2.8 Di USD (Model A007)』
ソニー用発売

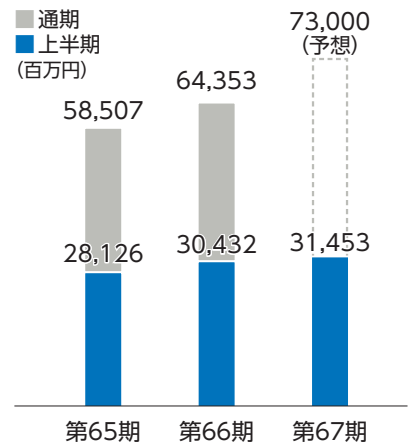
開発発表

レンズ関連

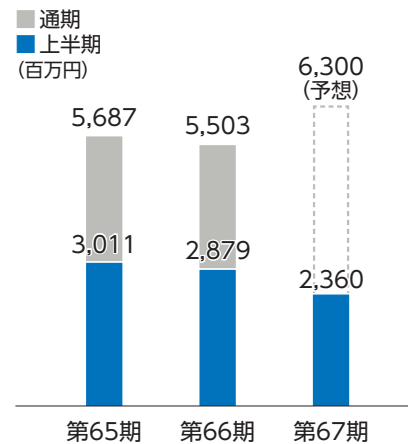
遠赤外線 (LWIR) カメラ用 小
型・軽量が特長の3倍ズームレ
ンズ 35-105mm F/1.6 (機種
#SC001) プロトタイプ機開発
発表



●売上高 ↑ 3.4% UP



●営業利益 ↓ 18.0% DOWN

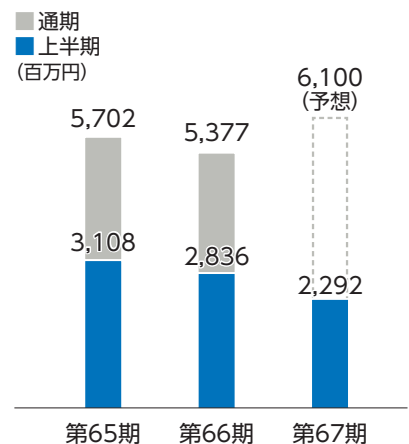


←Point

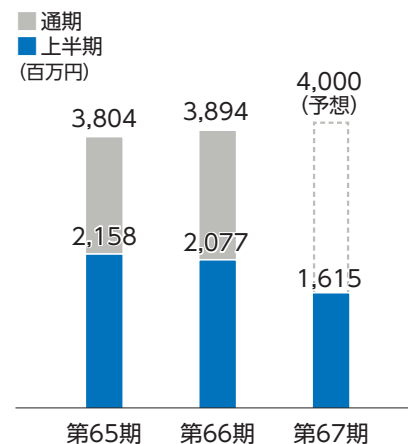
売上高・営業利益

売上・利益ともに計画未達。円安のプラス要因により、売上高は前年同期比増収となったが、営業利益は販売数量減少や営業費用増加により減益。

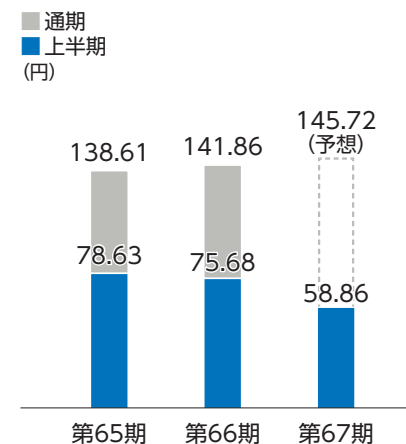
●経常利益 ↓ 19.2% DOWN



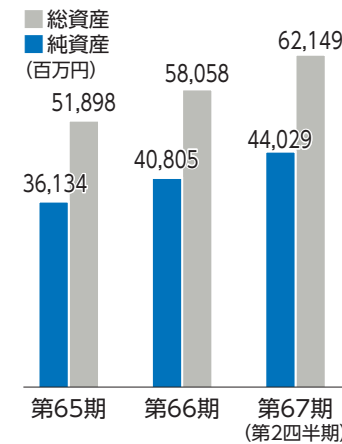
●当期(四半期)純利益 ↓ 22.2% DOWN



●1株当たり当期(四半期)純利益



●総資産／純資産



←Point

総資産

●流動資産 受取手形及び売掛金が16億52百万円減少した一方、現金及び預金が24億82百万円増加したこと等により、流動資産は前期末に比べ8億5百万円増加し、410億17百万円となりました。

●固定資産 有形固定資産のうち建物及び構築物が14億77百万円増加したこと等により、固定資産は前期末に比べ32億84百万円増加し、211億31百万円となりました。

負債

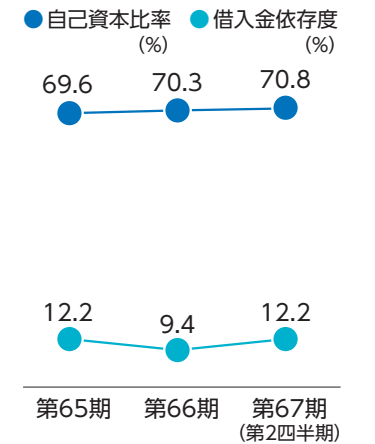
●流動負債 買掛金が13億円減少したこと等により、流動負債は前期末に比べ4億1百万円減少し、138億60百万円となりました。

●固定負債 長期借入金が11億27百万円増加したこと等により、固定負債は前期末に比べ12億69百万円増加し、42億59百万円となりました。

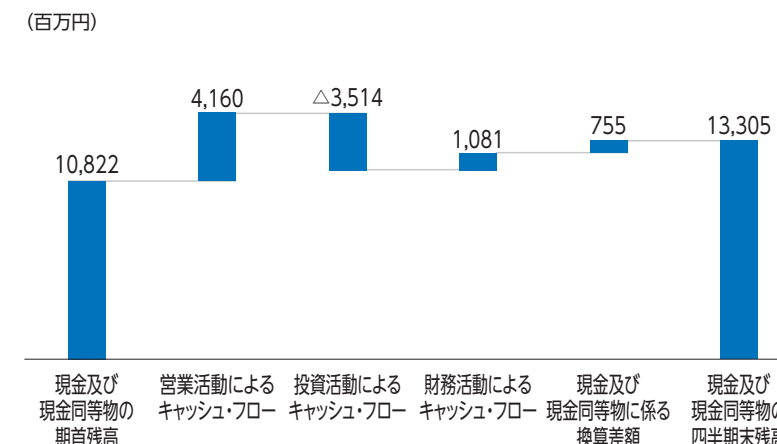
純資産

為替換算調整勘定の残高が14億34百万円となったこと等により、前期末に比べ32億23百万円増加し、440億29百万円となりました。

●自己資本比率／借入金依存度



●キャッシュ・フロー (第67期)



←Point

営業活動によるキャッシュ・フロー

仕入債務の減少が28億42百万円となった一方、税金等調整前四半期純利益が22億92百万円、減価償却費が16億13百万円、売上債権の減少額が30億11百万円となったこと等により、営業活動によるキャッシュ・フローは41億60百万円の収入となりました。

投資活動によるキャッシュ・フロー

有形固定資産の取得による支出が33億91百万円となったこと等により、投資活動によるキャッシュ・フローは35億14百万円の支出となりました。

財務活動によるキャッシュ・フロー

配当金の支払額が8億23百万円となった一方、短期借入金純増額が4億85百万円、長期借入れによる収入が20億40百万円あったことにより、財務活動によるキャッシュ・フローは10億81百万円の収入となりました。

連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

科目	当第2四半期 (2013年6月30日現在)	前期 (2012年12月31日現在)
資産の部		
流動資産	41,017	40,211
固定資産	21,131	17,846
資産合計	62,149	58,058
負債の部		
流動負債	13,860	14,262
固定負債	4,259	2,990
負債合計	18,120	17,252
純資産の部		
株主資本	42,376	41,584
その他の包括利益累計額	1,652	△778
純資産合計	44,029	40,805
負債純資産合計	62,149	58,058

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	当第2四半期 (2013年1月1日から 2013年6月30日まで)	前期 (2012年1月1日から 2012年6月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,160	3,332
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,514	△1,753
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,081	△1,304
現金及び現金同等物に係る換算差額	755	23
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	2,482	299
現金及び現金同等物の期首残高	10,822	12,773
現金及び現金同等物の四半期末残高	13,305	13,072

連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	当第2四半期 (2013年1月1日から 2013年6月30日まで)	前期 (2012年1月1日から 2012年6月30日まで)
売上高	31,453	30,432
売上原価	21,592	20,600
売上総利益	9,860	9,832
販売費及び一般管理費	7,500	6,952
営業利益	2,360	2,879
営業外収益	93	98
営業外費用	161	141
経常利益	2,292	2,836
税金等調整前四半期純利益	2,292	2,836
法人税等	676	758
少数株主損益調整前四半期純利益	1,615	2,077
四半期純利益	1,615	2,077

詳しくは当社IRサイトをご覧ください。



タムロン IR 検索

会社概要 2013年6月30日現在

商号 株式会社タムロン
 創業 1950年11月1日
 設立 1952年10月27日
 本社 埼玉県さいたま市見沼区蓮沼1385番地
 資本金 69億23百万円
 従業員数 2,352名(連結)

役員 2013年6月30日現在

代表取締役社長 小野 守男
 取締役副社長 河野 昭二
 取締役副社長 太田 均
 取締役副社長 白井 義博
 専務取締役 長島 久明
 専務取締役 川合 喬
 専務取締役 新井 宏明
 常務取締役 関 廣司
 常務取締役 志村 忠寛
 常務取締役 鱒坂 司郎
 常務取締役 大瀬 英世
 取締役 濱田 憲一
 取締役 清水 秀雄*
 取締役 横瀬 三亀夫*
 常勤監査役 益子 幸雄*
 常勤監査役 安田 信一
 監査役 利根 忠博*
 監査役 西本 恭彦*

注1. *印の取締役は社外取締役、監査役は社外監査役であります。
 注2. 当社は、取締役 清水 秀雄、監査役 益子 幸雄を東京証券取引所の定める独立役員として、同取引所に対し届け出ています。



タムロンの品質・環境に対する取り組み

品質 ISO9001:2000に基づき、品質保証はもとより、顧客満足度の向上を図る目的で品質管理活動を展開しています。
環境 企業の環境責任の重要性を認識し、環境にやさしい製品づくりなど、ISO14001に基づいて環境負荷の低減に取り組んでいます。

株式の状況 2013年6月30日現在

発行可能株式総数 80,000,000株
 発行済株式の総数 27,500,000株
 単元株式数 100株
 株主数 6,552名 ※単元未満除く

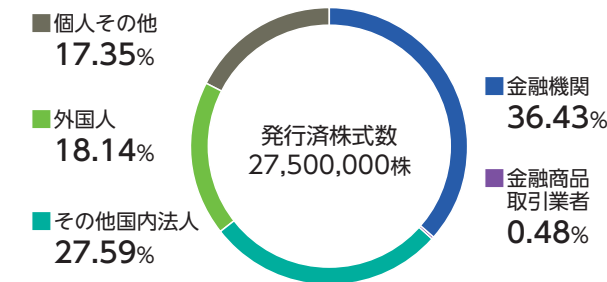
大株主

株主名	所有株式数(千株)	持株比率(%)
株式会社ニューウェル	4,898	17.81
ソニー株式会社	3,129	11.38
株式会社宏友興産	1,529	5.56
株式会社埼玉りそな銀行	1,122	4.08
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,057	3.84
日本スタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	834	3.03
ゴールドマン・サックス・アンド・カンパニー レギュラーアカウント	832	3.02
ビーエヌピー パリバセック サービスルクセンブルグ ジャ ステック アパディーン グローバル クライアント アセツ	830	3.02
日本生命保険相互会社	480	1.74
資産管理サービス信託銀行株式会社(証券投資信託口)	447	1.62

注. ソニー株式会社の持株数3,129千株は、みずほ信託銀行株式会社へ委託した信託財産であります。信託約款上、議決権の行使並びに処分権については、ソニー株式会社が指図権を留保しております。

株式所有者別分布

※単元未満除く



CSR活動報告

「出前授業」の実施

タムロンでは子供の理科離れが少なくなるよう、2008年度より主に小学生を対象に科学と環境の出前授業をボランティアとして行っています。授業は社員自らがプログラムから考え、チームを組んで講師を務めております。

2008年度から続けてきた「壊れない巨大シャボン玉作り」に加え、昨年から、より当社に関係の深いテーマとして「牛乳パックカメラを作ろう!!」を実施しております。

一生懸命カメラを作り、青焼き紙を使って写真を撮影し、自らの手で作ったり観察したりする事で、子供たちに科学をより身近に感じてもらう良い機会となっています。

今後も引き続き積極的に実施して地域への貢献を継続していきます。



Lesson デジタル一眼レフとミラーレスの違い

今回は「一眼レフ」と「ミラーレス」の違いを図を交えて説明させていただきます。

Di レンズが使用できるフルサイズ一眼レフやDi IIIレンズが使用できるAPS-C一眼レフの構造は下図左となり、主な違いはイメージセンサーの大きさです。

一方、Di IIIレンズが使用できるミラーレス(下図右)はファインダーを取り除き、ミラーとペンタプリズムが省略された構造となっており一眼レフと比較して小型設計が可能です。撮影方法の違いは、一眼レフがファインダーを見ながら撮影できるのに対し、ミラーレスはコンパクトデジカメのように液晶画面を見ながら撮影します。

一般的に、一眼レフの長所として、

● 高画質

● オートフォーカスが速い

● 交換レンズの数が豊富

● 動画との協調性が高い

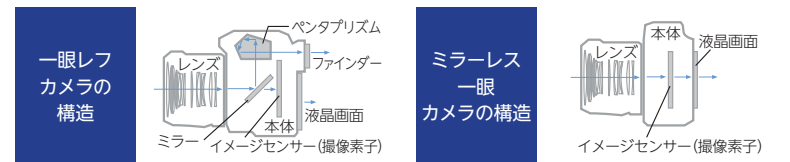
などが挙げられます。

ミラーレスの長所として、

● 小さくて軽い

● 動画との協調性が高い

などが挙げられます。



タムロンはカメラの種類に応じてレンズ商品ラインアップを下記3つのカテゴリーに分類しております。

- Di シリーズ (デジタル/フィルム兼用)
 - 12種類 (画角は変化しますが APS-Cサイズ相当デジタル一眼レフにも使用可能です。)
- Di II シリーズ (APS-Cサイズ相当デジタル専用)
 - 6種類
- Di III レンズ (ミラーレス一眼カメラ専用)
 - 1種類

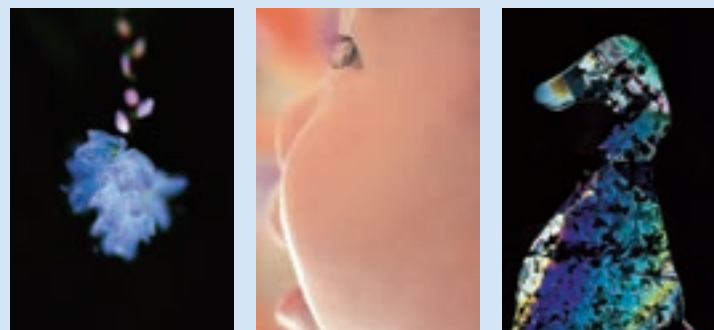
* 2013年6月30日時点

株主の皆様もぜひご応募ください!

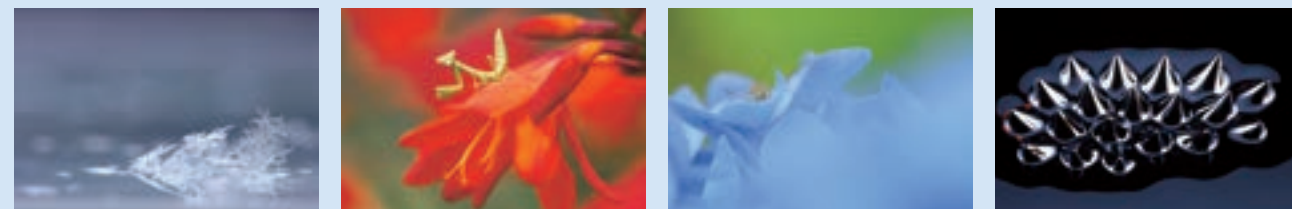
第10回

タムロンマクロレンズフォトコンテスト作品募集

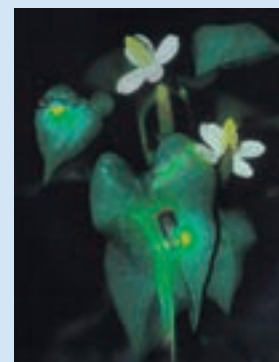
- 募集期間 2013年5月1日(水)~10月31日(木)
- 締め切り データ応募 : 23時59分59秒まで
- プリント応募 : 消印有効



第9回グランプリ受賞作品 第3回グランプリ受賞作品 第1回グランプリ受賞作品



第8回グランプリ受賞作品 第4回グランプリ受賞作品 第6回グランプリ受賞作品 第2回グランプリ受賞作品



第5回グランプリ受賞作品



第7回グランプリ受賞作品

コンテスト概要

ネイチャーの部 植物や昆虫、小動物などの ネイチャー写真を対象とします。		ノンジャンルの部 人物・アクセサリー・料理など、 ネイチャー写真に限らず広く募集します。	
審査員	写真家 江口 慎一氏	審査員	写真家 川合 麻紀氏
グランプリ(全応募作品の中から1名) 300,000円			
金賞(2名)	100,000円	金賞(2名)	100,000円
銀賞(2名)	50,000円	銀賞(2名)	50,000円
銅賞(4名)	10,000円	銅賞(4名)	10,000円
入選(10名)	記念品	入選(10名)	記念品
タムロン賞(1名)*	50,000円	タムロン賞(1名)*	50,000円
受賞者 39名		賞金合計 1,080,000円	

*タムロン賞・・・タムロンマクロレンズで撮影された作品から選出されます。

詳しくは当社ホームページ上にも掲載しております。

▶▶▶ http://www.tamron.co.jp/special/macrocon2013/index_outline.html

株主メモ

事業年度 毎年1月1日から12月31日まで
定時株主総会 毎年3月
基準日 定時株主総会 毎年12月31日
期末配当 毎年12月31日
中間配当 毎年6月30日

単元株式数 100株
株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

各種お問い合わせおよび郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)

※ 取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店及び全国各支店で行っております。

公告方法 電子公告 ※ ただし、電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
当社ホームページ <http://www.tamron.co.jp>

お知らせ

● 住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社等に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

● 未払配当金の支払について

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

● 復興特別所得税について

2011年12月2日に『東日本大震災からの復興のための施策を実施するために必要な財源の確保に関する特別措置法(平成23年法律第117号)』が公布され、2013年1月1日から2037年12月31日までの間(25年間)に生じる所得には、その源泉徴収所得税額の2.1%が『復興特別所得税』として課税されることとなりました。

株式等の配当金等も『復興特別所得税』の対象となり、所得税率に復興特別所得税率が追加されて源泉徴収されます。

株式会社タムロン

〒337-8556 埼玉県さいたま市見沼区蓮沼1385番地
TEL 048-684-9111(代) FAX 048-683-8289
<http://www.tamron.co.jp>

■ IR情報関連に関するお問い合わせ
経営企画室

TEL 048-684-9114(午前9:00~午後5:20) FAX 048-683-8282
e-mail: kabushiki@tamron.co.jp

ホームページのご紹介

当社ホームページでは、事業内容をはじめ、商品のご紹介からIR情報に至るまでの様々な情報を掲載しています。ぜひご活用ください。

主な掲載コンテンツ

- 企業情報
- 採用情報
- 製品情報
- IR情報
- お問い合わせ
- CSRへの取り組み

タムロン トップページ

URL <http://www.tamron.co.jp>



タムロン フォトサイト

URL http://www.tamron.co.jp/index_p.html



UD FONT
by MORISAWA

見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。



本冊子は環境保全のため、植物油インキで印刷しています。